

台湾

Taiwan | 台湾

実施時期	2026年3月～5月	費用	約31万円	上限人数	8名
応募条件	特になし				

台湾は、沖縄のさらに南に位置する温暖な島国です。台北市は台湾最大の都市で、経済・政治・文化の中心地です。世界有数の高さを誇る摩天楼と伝統的な芸術が共存し、多様な文化を体験できる街として知られています。観光スポットとしても有名な国立故宫博物院は、東呉大学のキャンパスの近くにあります。

また、台湾は19世紀末から第二次世界大戦終結までの50年間、日本の統治下におかれていたことから、その歴史にふれるのも貴重な体験です。



学生・教員の声

台湾は距離的にも近く、食べ物や街並みなど日本人にとって親しみやすいものが多いため人気の観光地です。しかし一歩踏みいれるとそこには日本と全く違う歴史や文化がたくさんあり、実は「近くてとても遠い」国なのです。そして台湾について勉強する魅力はアジアの国際情勢、植民地支配の歴史、先住民族と現代社会、最先端のアートとテクノロジーなどグローバルなトピックも同時に学ぶことができることです。是非おいしいストリートフードを頬張りながら台湾の多層的な文化を体験してみてください。

プログラム概要

期間 2026年3月9日～5月29日

語学研修

台湾台北市にある東呉大学で「Quarter Spring Program」に参加します。午前中の3時間は基礎的な台湾華語（中国語）のレッスンを受け、また語学だけでなく、不定期で実施される文化アクティビティでは台湾の祭礼・習俗・生活様式・美術などの文化について学びます。願い事を書いた天灯（熱気球）を上げたり、日本統治時代に整備された安農溪でラフティングしたり、パイナップルケーキや台湾茶づくり、農業、お茶染めを体験したりなど趣向を凝らした魅力的なラインナップが用意されています（過去の事例）。

時間割

	月	火	水	木	金
9:00～12:00	語学研修				
13:00～17:00	フィールドワーク				
※時間割は、レベルによって午前・午後が入れ替わります。					



フィールドワーク

台湾には複数の民族が暮らし、歴史的に培われてきた文化や、外との交流のなかで変化してきた文化をさまざまな形で見ることができます。たとえば食習慣を通して文化がどのように変化してきたのかを調べたり、歴史的な建造物をめぐって、現代の社会で伝統がどのようにとらえられているのかを調べたりすることで、アジアのなかの台湾、世界のなかの台湾を考えるヒントが得られるはずです。

【フィールド調査テーマ例】

- 建築について／建築物探訪（台湾の古蹟・伝統建築物など）
- 宗教について／道教（廟探訪等民間信仰）
- 民族について／台湾アイデンティティ、宜蘭クレオールなど
- 歴史について／オランダ統治時代、日本統治時代など
- 飲食について／台湾料理、屋台、喫茶、日本食など
- 交通について／台湾の鉄道、交通網の発展

そのほか様々なテーマがあります



現地受入機関 東呉大学

東呉大学の前身は1900年にメソジスト教会の宣教師たちによって中国・蘇州に設立され、1951年に台北に再建された私立大学です。文学、理学、法学、商学、外語学院の5学院23学科を擁する総合大学で、Chinese Language Center は台湾華語（中国語）と台湾文化の習得を目指すひとのために2013年につくられました。また、日本語学科は台湾国内でも有名で、多数の学生が日本語を学んでいます。東呉大学の二つのキャンパスからは台北の主要観光スポットへもアクセスしやすく、言語だけでなく文化体験にも適した環境です。

現地受入機関	東呉大学 Soochow University, Chinese Language Center
所在地	No. 70, Linxi Rd., Shihlin Dist., Taipei, Taiwan 111002
URL	http://mandarin.scu.edu.tw/index.php/en/programs/quarter-program
宿泊情報	寮
ビザ	90日以内の滞在はビザ不要
予防接種	不要

[FW費用概算] 2025年度実績			
渡航費	約6万円	宿泊費※2	約16万円
海外旅行保険料	約6万円	交通費※3	約1万円
その他※1	約2万円		
概算費用	約31万円		

※1: 寝具セットTWD3,000は現地にて現金払い

※2: 食費は含まない

※3: 空港から東呉大学までの交通費